

「運営体育委員長としての仕事」

緑川小学校 6 年 松本 煌大

「世の中のご飯を食べられない人を減らしたい」

この言葉は、お父さんの言葉です。

僕のお父さんは、農業の仕事をしていて、玉ねぎやほうれん草、ブロッコリーなど沢山の野菜を育てています。この言葉を聞き、僕はほかの人のために頑張り、みんなを幸せにしようとするお父さんの姿がかっこいいなと思いました。また、この言葉を聞き、「僕ももっと頑張ろう」という気持ちになりました。

僕は緑川小学校の運営体育委員会の委員長をしています。運営体育委員会は、遠足や運動会、児童集会などの運営・進行や全校遊び、みんなのいいところ探しなど、緑川小学校をより良い学校にするための仕事をしています。

5年生のとき、委員長をやらないかと担任の先生に言われたときは、正直、「言われたから、まあしてもいいかな」というくらいの気持ちでした。僕はあまり前に出て発表したり、大きな声でみんなを引っ張ったりしていくようなタイプではないけれど、みんなと一緒に頑張っていこうと考えていました。

今回、この少年の主張に参加するにあたって、運営体育委員長としてどんなことをしたいのかを改めて考えました。そこで思ったことは「自分たちで緑川小学校をより良い学校にしたい」ということです。

では、どうすればより良い学校にできるのかを考えました。

そこで、お父さんにも相談してみました。先ほど言った通り、僕のお父さんは、農業の仕事をしていて、玉ねぎやほうれん草、ブロッコリーなど沢山の野菜を育てています。そんなお父さんに、「なんで仕事を頑張っているの？」と聞いてみると、「世の中で食べられない人を減らしたい」、「家族が幸せになるように」、「地域の保全をがんばりたいから」と話をしてくれました。

仕事はお金を稼ぐためにするものではありませんが、お父さんはそれ以上に、家族はもちろんのこと、地域の人が幸せになるために仕事をしているんだと知り、そんなお父さんの姿はとってもかっこよく見えました。

そんなお父さんの話を聞いて、僕も緑川小学校のみんなを幸せにしたいという思いを強く持ちました。そこで、具体的には二つのことを頑張ろうと思いました。

一つ目はあいさつ運動です。あいさつをすることで、気持ちが明るく元気になります。そして、その人がまた他の人にあいさつをすると明るく元気になる人がどんどん増えていきます。だから、運営体育委員会のみんなとあいさつ運動を行い、みんなが明るく元気で幸せな気持ちになれるように頑張りたいです。そして、緑川小学校を明るく元気な学校にしていきたいと思います。

二つ目は人権に関する取組です。僕は自分に自信を持てない時があります。

例えば、歓迎遠足のときにみんなが楽しめるゲームを企画したけれど、進行が上手くいかなくて、だめだったな、と自分自身で感じていました。

しかし、そんなぼくに、友達が「そんなことないよ！とっても楽しかったよ！」と言ってくれました。その場にいた周りの友達も「そうだよ！大成功じゃん」などと沢山ほめてくれました。そのとき、僕はとっても嬉しかったし、そのことが自信にもつながりました。

こんな風にお互いの頑張っているところを伝え合えると、緑川小のみんなもとても幸せになるんじゃないかと思いました。

緑川小学校の人たちがこんな気持ちになれるように、運営体育委員で、「ふわふわの山」という友達のいいところを伝え合う活動や、昼休みの「全校遊び」を行い、お互いのことを知り、頑張っているところを伝えあえるような取組をこれからも行っていきます。

今の僕は、「みんなが幸せになれる緑川小学校にしたい」という気持ちが誰よりも強いという自信があります。だからみんなと協力して、緑川小学校をより良い学校にできるよう、運営体育委員長として、委員会のみんなとアイデアを出し合って、お父さんのようにがんばりたいと思います。

絶対にやり遂げて見せます。